

## 違法・有害情報から子どもを守るための環境整備を求める意見書

現在は、子どもたちが携帯電話やパソコンから簡単に接続できる状況にあるなど、インターネット上では違法・有害情報の氾濫が事実上野放し状態となっています。出会い系サイト等を通じて、実際に子どもたちが犯罪に巻き込まれる事件も多発しています。

また、「学校裏サイト」と呼ばれる匿名掲示板には、子どもによる誹謗中傷が書き込まれ、いじめの温床になっているなどの問題も起きています。

総務省は、携帯電話会社に要請し、未成年者を「フィルタリングサービス」に自動的に加入させるよう取り組みを進めていますが、親の名義で子どもが利用している場合には適用されないなど、十分なものではありません。また、技術的な対応だけでなく、子どもへのメディアリテラシー教育や保護者ら利用者側への啓発活動への取り組みも不可欠です。

よって町田市議会は、国会及び政府に対し、子どもたちに対するメディアリテラシー教育の推進並びに保護者への啓発に努めること、違法・有害サイトの利用防止のための活動を行う団体に対して財政支援を含めた協力を行うこと、フィルタリングソフト等の技術開発・水準維持にかかる支援を行うこと等、子どもたちをインターネット上の違法・有害情報から守るための総合的な施策を強力に推進することを要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。